

令和5年度ジュニア・リーダー中級研修会

7月15日(土)・7月16日(日)

「レクリエーション活動を通じた集団づくりの活動」

講師：志津川自然の家 研修支援班



【受講者の声】※抜粋

・私は人の名前や顔を覚えるのが苦手であったが活動を通して名前だけでなくキャンプネームや顔も覚えることができ交流につながった。また、互いの好きなもの嫌いなものを知れたことで相手の気持ちを考えることができた。今回のゲームをアレンジして今後の活動で子どもたちの笑顔をつくれるようになりたい。

「ジュニア・リーダーの役割」※動画視聴による

講師：シニアリーダーサークルZEST 会長 遊佐 直弥 氏

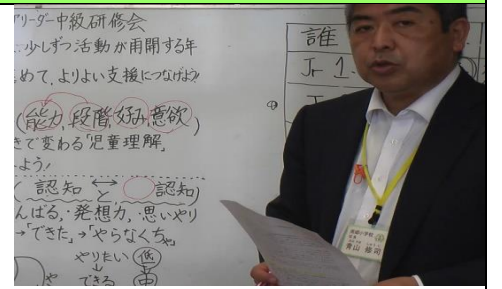


【受講者の声】※抜粋

・先生でもなく親でもない「頼れる友達」のような存在がJ・Lとして目指す姿だと思う。そのためには、「笑顔でいる・相手を認める・褒める」そして挑戦していいんだという気持ちを芽生えさせるためにJ・L自らが楽しんでる姿を見せていくことが大事だと分かった。

「子供の理解」※動画視聴による

講師：教育庁生涯学習課 社会教育専門監 青山 修司 氏



【受講者の声】※抜粋

・能力は発達段階や好み、意欲によって変わるものである。そのため、企画を考える際に誰を主体(対象)にするか考える必要があることが分かった。高学年に「やらなくては」という意欲を芽生えさせるためには、「誰かのために」という思いを感じさせると良いと考える。そう思わせる具体的な案は思いつかないため、他の活動を通して考えていきたい。

「安全教育」

講師：南三陸消防署



【受講者の声】※抜粋

- ・初めての体験でとても難しかった。手の置く位置や押す深さなど、いろいろ気を付けることがあり、他の人への協力や指示なども必要なことが分かった。一番身近な熱中症は防げるけど、高齢者の方などは特に気を付けてこまめな水分補給を促していきたい。

「情報交換活動」

ファシリテーター：気仙沼教育事務所 教育班



「技能交流活動」①

講師：鹿折JLOB



「技能交流活動」②

講師：気仙沼教育事務所 教育班



【受講者の声】※抜粋

- ・キャンドルセレモニーでJ・L全体に統一感が生まれ、仲間という意識がより強まった。宴ではそれぞれのスタンプが面白く、より親密性が高まった。今回の体験を活かし地域活動に入れていきたい。
- ・たくさんのレクゲームを教わり、ダンスを踊ったりして充実した時間になった。また、元気よくふるまう大切さを学び、恥ずかしがらずに思いっきりやることができた。場の盛り上げ方など難しいところもあるが、これからの活動に役立てていきたい。